

## 令和5年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

15/15回収率100%

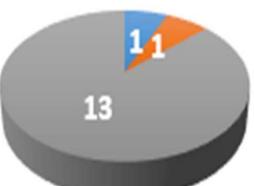
公表 令和6年6月

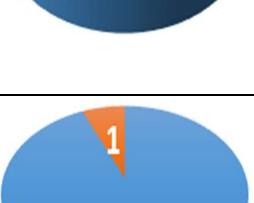
事業所名 中野区子ども発達センターたんぽぽ

チェック項目		回答結果 ■はい ■どちらともいえない ■いいえ	意見	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	 7 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭いと感じる日はある</li> <li>・長期休業中など大人数でパーテーションが開けられない時は少し窮屈と感じる</li> <li>・座位保持用具や臥位姿勢など考慮すると狭い</li> </ul>	利用人数が多い時は、多少の窮屈感はあるもののパーテーションの開放や2グループに分けたり、活動内容を変えるなどで、児童の安全を最優先しスペースを確保している。
	② 職員の配置数は適切であるか	 13 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分補充されたと思う</li> <li>・登所するお子様によつては厳しい日がある</li> <li>・学校長期休業期間はとても不足</li> </ul>	配置基準を満たしている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	 14 1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール室を除いて建物内部の床面はフラットである。</li> <li>・車いすの入れ方やドアの角をクッション材で保護し、お子様が怪我しないようにしている。</li> </ul>
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部はできている</li> <li>・話し合いや振り返りでの内容が記録に残っていないことが時々ある</li> </ul>	業務改善は、案件の内容によって主導する職種(福祉職・看護職・リハ職・事務職)や職制で異なるが、事業担当者会議・専門職会議・職員会議等で職員全員が参画し、迅速に対応する流れにある。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	 14 1		ガイドライン保護者評価のほか施設単独アンケートの結果は、職員へ周知し、検討事案においては各会議で検討し業務改善に繋げ、その対応を保護者各位にお伝えしている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	 14 1		毎年、保護者会等で報告し法人本部のホームページに掲載し公表している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	 14 1		第三者委員会を実施し、インシデント・アクシデント分析報告や虐待防止等の各委員会報告等を行い、委員より評価や助言を頂き改善に繋げている。

	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		施設側の業務命令と個人の希望の双方を取り入れている。	・業務に支障がない範囲で必要な研修の機会を設けている。 ・個人調書をもとに希望する研修の機会を提供している。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		その方向性で取り組んでいる、職員個々のスキルに差がある。	毎月、児童発達支援内容検討会を設けて児童1人ひとりの支援内容やその進捗状況を確認している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			某療養介護施設が使用するツールをたんぽぽ版仕様に作成し、試用を重ね改善を図る。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか			個別に相談して立案しているが、チームとして立案ができている状況ではない。ただ、福祉職以外に活動案を求めたり、個別リハで実施したことを活動の中で取り入れている。
適切な支援の提供	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		・2 便下校は難しさがある ・本読みやパネルシアター等はバリエーションがあると思う	利用児が楽しく活動参加ができるよう定期的に見直しをする機会を設け、バリエーションを増やしていく。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		・個別ではできている ・長期休業期間は支援者不足 ・平日 2 便、人数が多い時でも短時間で楽しめるような工夫をしている	・平日、休日、長期休暇により大きな差ではなく、活動は歳時記や季節感を取り入れ、各児童の個別支援計画の課題に沿って工夫しながら支援している。 ・児童の特性上 ADL の全介助が殆どであり、食事やおやつ等の準備、トイレ 2 人介助などで待ち時間が多くなってしまうため改善に向けて検討したい。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか		・集団活動主体、個別(リハ、他)も取り入れている	原則は集団療育をメインにしている為機会は少ないが、必要に応じてグループ分けや個別の対応を行う。食休みの時間は個別対応がされている。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		・朝礼に出ていない人に伝わっていないことが時々あり(リーダー共に超え掛け合っていく)	出勤時間により参加できない職員もいる為、フォローしていく。

	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		話し合いや振り返りでの内容が記録に残っていないことが時々ある。	当日の利用状況により、できない場合には個別での対応や朝の打ち合わせで共有できるようにしている。また、各自が活動記録を確認することをルーチン化している。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		支援計画の項目がチェックされても記録として内容が残っていないことが多いが多く振り返りが難しい時がある。	・非常勤職員においては日々の個別記録を見る機会がない為、その分を振り返りや打ち合わせでフォローしていく。 ・職員により記録の仕方や内容に差がある為、記録の際は前回の記載内容を把握した上で個々の支援内容に沿った記録を行うこととし、記録内容に連続性を持たせる記録方法の平準化を図る。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか			・日々の記録の際、支援計画実施内容をチェックしている。 ・モニタリング時期にはケース会議を行い、見直しをしている。 ・保護者の要望を聞きつつ、計画を見直す場合もある。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか			・対象児が重症心身障害であることから、難しい側面があり、ガイドラインを確認しつつ対応していく。 ・可能な限り活動が偏らないように配慮している。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			対応できる職員を増やしていく、情報共有を強化していく。
関係機関や保護者との連携	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか			・学校と事業所間のスケジュールや連絡調整等はオンラインやメールで行っている。 ・送迎時に学校と情報共有を行っている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			・嘱託医、児童の主治医とは保護者を介して、就学に向けては学校との連携は行えている。他の関連機関についても必要に応じ連携し対応している。 ・関連機関の依頼に応じて見学を受け入れている。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		今のところ関わりはない。	新一年生が 2 名入ってきているが他事業所と情報共有はできていない。必要に応じてコンタクトを取りたい。

㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yes</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>No</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	Response	Count	Yes	12	No	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求められる時は積極的に対応している</li> <li>・相手先や保護者が希望した場合提供している</li> <li>・依頼があれば実施</li> <li>・依頼に応じて対応している</li> </ul>	保護者へ案内し、ご希望があれば書面での情報提供を行っている。		
Response	Count											
Yes	12											
No	3											
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yes</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>No</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>Don't know</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	Response	Count	Yes	9	No	5	Don't know	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハ職同士の関わりはある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頻度は少ないものの、必要な研修参加はしている。</li> <li>・対象児が、重症心身障害児で要医療的ケアも含むため積極的な意見交換等は行っていない。</li> <li>・一部であるが他事情所との連携ができている。</li> </ul>
Response	Count											
Yes	9											
No	5											
Don't know	1											
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yes</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>No</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	Response	Count	Yes	13	No	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・易感染症の利用児が多く積極的交流は控えている</li> <li>・コロナ禍以降無くなってしまった</li> <li>・感染症対策のため行っていない</li> </ul>	利用児童(重症心身障害)の特性から、感染症の心配もあり慎重に対応したいと考えている。その上で前向きに検討したい。		
Response	Count											
Yes	13											
No	1											
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yes</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>No</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>Don't know</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	Response	Count	Yes	7	No	5	Don't know	3		構成メンバーなのでその都度参加している。参加した者は内容等を職員会議で周知している。
Response	Count											
Yes	7											
No	5											
Don't know	3											
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yes</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>No</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	Response	Count	Yes	14	No	1		年2回の面談以外でも連絡帳や電話連絡、リハでの情報伝達は細やかに行なうよう心掛けている。		
Response	Count											
Yes	14											
No	1											
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yes</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>No</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>Don't know</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	Response	Count	Yes	6	No	4	Don't know	5	<p>子どもに必要なことに関してのアドバイスは行っているが保護者の力をつけるようなアドバイスはあまりできていないと思う。</p>	ペアレント・トレーニングとまではいかないが、諸々のご相談やご質問等に対し、その都度対応している。
Response	Count											
Yes	6											
No	4											
Don't know	5											
㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yes</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>No</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	Response	Count	Yes	14	No	1	<p>利用開始時に説明している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時や変更があった場合には、面談や保護者会で説明を実施している。</li> <li>・運営方針や運営規程、苦情窓口など玄関エントランスホールの壁に掲示している。</li> </ul>		
Response	Count											
Yes	14											
No	1											
㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yes</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>No</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	Response	Count	Yes	14	No	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談あれば対応、対応範疇でない場合は関連機関をご案内する</li> <li>・回答に困った時は他職員に相談して対応している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の連絡帳・面談・健診・個別リハビリ等で必要な対応を行っている。</li> <li>・日常会話などを通して相談しやすい雰囲気を作っていく。</li> </ul>		
Response	Count											
Yes	14											
No	1											

保護者への説明責任	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会開催時に保護者懇談会の時間を設けている。</li> <li>・児童発達支援から放課後等デイサービスへ利用移行する流れにあるので、合同保護者会を企画し保護者及び情報の交流を図りたい。</li> </ul>
	㉓ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			保護者会、各アンケート、連絡帳、電話等で頂いた相談や申入れについては、迅速に対応するよう努めている。また、ご意見箱の設置や苦情処理システムをエントランスホールに掲示している。
	㉔ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			日常的には、連絡帳や電話で情報交換しているが、月の予定表やたんぽぽだよりを年4回発行している。必要に応じて、書面やメールで連絡事項をお伝えしている。
	㉕ 個人情報に十分注意しているか		個人名が書かれたメモなどが机上に出しつぶなしなっていることがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護法に基づき対応している。</li> <li>・日常的な記録、メモの取扱いには十分注意する。</li> </ul>
	㉖ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		不十分ではある。	職員には子供の些細な動きから発される意思を読み取る観察力と洞察力を養うため、職員間で検証の機会を設けるなどの努力を求めている。
	㉗ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			対象児の特性上、積極的な実施は難しいが、感染症の状況を見ながら、少しづつ関わりの機会を設けていくたい。
非常時の	㉘ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		・不十分ながら訓練を実施している ・不十分ではある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員への周知は出来ているが、保護者への周知はたんぽぽだよりで実施内容や経過報告も含めてお知らせする。</li> <li>・緊急医療情報連絡票を作成している(緊急時に丸一日たんぽぽで過ごすことを想定し、緊急連絡先や児の一日の生活の流れなど記入)</li> <li>・より具体的な訓練を実施していく。</li> </ul>
	㉙ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		・時期により行えていないこともある ・不十分ではある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不足している部分はあるが、概ねの備えと訓練は実施している。</li> <li>・月1の防災訓練の取組み、今一度それぞれの動きを確認していく。</li> </ul>

対応	④〇 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			行政が開催する虐待防止・権利擁護・身体拘束の適正化等の研修に参加し、その内容は職員会議で周知する。
	④△ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		対象児童はいないが、対応は決めている。	対象児がいる場合には、速やかに身体拘束に関する説明及び同意書の作成を行い、職員間及び嘱託医と共に上、保護者への説明と同意を得る手順にある。また、その内容等は期間を設け見直していく。
	④△ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			・利用契約前の健診や初回通園時等で必ず確認を行っている。 ・対応方法は緊急医療情報連絡票・フェイスシートに記録している。
	④△ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			・ヒヤリハット等が発生した際、回覧用報告書で素早く周知する体制にある。 ・毎月の事業担当者会議で改善策を立て施設長の承認を得て、全職員が確認の署名を終えてファイル化している。 ・毎月の職員会議で件数・内容を確認し、年度末に集計・分析を行い予防に繋げている。